



よこすか市議会だより

No.25

平成29年(2017年)
8月16日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会

編集 広報広聴会議



バンガロー内部

平成29年4月15日、ソレイユの丘に三浦半島初のオートキャンプ場がオープンしました。

会期を一年とする

「通年議会」始まる

横須賀市議会は今年度から、緊急事態や災害に対応できるようにするため会期をほぼ1年とする「通年議会」を導入しました。これにより、定例会の回数がこれまでの年4回から、年間を通して1回となりました。

招集議会

5月10日に平成29年招集議会を開催し、会期を平成30年4月30日までの356日間としました。

招集議会では、議長、副議長のほか、新たな議会内役職者が決定しました。

次いで藤野英明議員（無会派）が北朝鮮による弾道ミサイル問題に対する市の対応について緊急質問を行いました。また、青木哲正議員（無会派）及び田辺昭人議員（自由民主党）が、吉田市長の割引券つき名刺問題に対する緊急質問を行った。

6月定例議会

6月定例議会は、5月31日から6月16日までの17日間で開催しました。

5月31日の本会議においては、7名の議員が登壇し、市長、教育長等に対して一般質問を行い、活発な議論を展開しました。そして、平成29年度横須賀市一般会計補正予算をはじめとする議案5

件については、担当する各常任委員会に付託され審査を行いました。

最終日の6月16日には、追加提出された8議案を含めた13件の議案を可決しました。また、平成29年請願第4号「産業交流プラザ廃止後の遊休スペースの有効活用について」は、3名の議員から賛成討論がありました。

賛成討論がありましたが、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

このほか、各常任委員会では6月7日、9日に市が所管する施設等へ足を運び、現場の取り組みを視察しました。

議会が変わる！ 市政が変わる！

政策検討会議・広報広聴会議

横須賀市議会は議会改革の第2ステージとして昨年3月、関東学院大学と県内では初めて包括的パートナーシップ協定を締結しました。これにより大学が持つ専門的知識を議会発の政策提案や条例づくりに活かすとともに、学生と共同で市民との意見交換会や市民アンケート調査を実施するなど、議会の政策力や広報広聴機能の充実・強化を図るための様々な取り組みが期待できます。

まず、議会内の検討組織の見直しを行い、新たに政策検討会議を立ち上げました。1期4年間に議会全体で取り組むべき政策課題を明確にし、進行管理を行いながら議会の政策立案機能の強化に精力的に取り組めます。

また、市議会だより編集委員会と議会報告会等準備会の2つの組織を統合し、広報広聴会議を立ち上げました。市民ニーズの把握、政策立案、情報発信のそれぞれの機能を強化し有機的に結びつけることにより、より効率的で迅速な情報発信が可能となります。

今後とも開かれた議会、身近な議会を目指して情報発信してまいります。

これからの横須賀市議会にご注目ください！

高校生と意見交換 議会報告会で



市議会では4月21日・22日の2日間に市内4か所で議会報告会を行い、平成29年度予算の審議結果等について報告しました。また、新たな試験的取り組みとして、3月29日に横須賀総合高校へ出向き、主権者教育を兼ねた議会報告会を開きました。

第1部で横須賀市議会のしくみ、本市の人口減少問題、子育て支



た。生徒からは「また参加したい」「議会を身近に感じた」等の感想が聞かれました。

今回試行した参加者とテーマに沿った内容で意見交換をするスタイルは、広聴機能の強化に向けて、今後の参考にしていきたいと思っています。

6月定例議会 一般質問

大村 洋子 議員 日本共産党

まちづくりのビジョンと国保・資格証問題

問 施設配置適正化問題で市長が提示しているのは手段とか、手法だ。市民が求めているのは、横須賀のまちをどうしたいという思想やビジョンだ。

答 希望だけ語るのは難しい。

問 来年度からの国民健康保険の県単位化がはじまる。保険料が上がって市民負担が及ばないための方策は。

答 最新の情報収集に努め、機会を捉えて国や県に意見を上げていく。

問 国民健康保険料を滞納すると資格証発行となり医療の窓口に行った時に10割払わなければならない。これは事実上の無保険状態ではないか。

答 無保険状態と私は申し上げることはない。

問 横須賀市の資格証発行は1106世帯。横浜市は177世帯。これは極めて首長の考え方によると思うが。

答 丁寧な相談の結果3分の1に減少した。

小林 伸行 議員 研政

組体操による児童の重大事故リスク

問 2016年度に29件の組体操事故が起きた。その教育効果はリスクに見合うのか。

答 リスクに見合わない種目を選択する必要は全くない。

問 では、なぜ漫然と放置しているのか。

答 そのようなことは全くない。

問 実施は学校長の判断か。

答 判断は学校長が行う。

問 では、賠償や訴訟のリスクも学校長が負うのか。

答 損害賠償責任は市が負う。学校長が負うことはない。



問 それはおかしい。では、事故の最終的な責任は誰にあるのか。

答 責任究明より、誠心誠意対応することが教育委員会や学校の責務だ。

問 それでは事故がなくならない。今後、責任の所在が明確になるように措置すべきだ。

答 組体操のあり方や責任所在の明確化の方策を検討していく。

小室 卓重 議員 無会派

放課後子ども教室のあり方について

問 放課後子ども教室は全児童対策だから、内容は、学校の延長的な「学習支援」でなく、安心・安全な「居場所」とすべきではないか。

答 横須賀市の子どもの基礎的な学力がなかなか身につけられていない状況で、学習支援を主たる業務として試行していきたい。

問 放課後子ども教室の試行には市民委員を含む児童福祉審議会委員の意見が反映されていないのではないか。

答 審議会委員募集が1月だったため、予算化にあたって意見を聞くことはできなかった。

高橋 英昭 議員 研政

放課後児童対策・公共施設再編問題について

問 学力向上が大切なのは理解するが、放課後の過ごし方ぐらいは子どもの自主性に任せては。

答 子どもの自主性も大事だとは思いますが、学力向上という政策的な目的を加味したい。

問 学童は市町村が義務を負う必要があるにも関わらず、立ち上げなど保護者の苦労の上にある。公設民営等の方法も検討するべき。

答 現段階では民設民営のいいところを伸ばしていきたい。

問 データとして不十分な公共施設マネジメント白書は見直す必要性があるのではないか。

答 可能性は否定しない。

長谷川 昇 議員 研政

秋谷の水上バイク・教職員の多忙化について

問 秋谷海岸の水上バイクの拠点について、許可の基準はどうか。

答 占用許可については長井の「海・浜ルール」に準じている。

問 約束が守られないから町内会が反対の決議をした。許可した市の責任は。

答 事業者に対する指導だけでなく、町内会との調整も含めて、今後は取り組む。

問 必要に応じて条例制定も考えるべきでは。

答 明文化したルールは必要に応じて条例制定も考えるべきでは。



秋谷海岸

答 必要に応じて条例制定も考えるべきでは。

問 このほかに、藤野英明議員、青木哲正議員が一般質問を行いました。（紙面の都合上、質問記事は議員一人あたり年2回までの掲載となります。）

中学校完全給食実施等検討特別委員会

本委員会では、中学校完全給食の実施方法等を検討するにあたり、市内小学校給食室のドライシステムやドライ運用など施設の視察を行い、栄養教諭・給食調理員と懇談をし、意見を直接お聞きしました。また、中学校給食実施自治体へ親子方式やセンター方式の視察を行い、本市の中学校完全給食のあるべき姿を審査、検討を重ねてきました。



立川市の施設を視察

その検討結果を踏まえ、中学校完全給食実施方式の決定にあたり、**1**生徒たちの望ましい昼食 **2**本市の財政状況 **3**食の安全・安心 **4**給食室整備の実現性 **5**全校への提供時期 **6**児童生徒数の増減 **7**市内経済への影響についての以上7項目についての提言をまとめ、6月16日の市議会本会議において、委員会としての中間報告を行いました。その後、7月7日の委員会において市内1カ所に給食センターを整備し、全23校に配送する「センター方式」が最善とする実施方式案について教育委員会から報告を受けました。そして、7月21日の教育委員会定例会において、「センター方式」で実施することが決定されました。

市議会にタブレットを導入します
～ペーパーレス会議システム始動～

平成29年9月定例議会から、ペーパーレス会議システム及びタブレット形式でも使用できるパソコンを導入し、本会議、常任委員会、特別委員会等においてデータ化した資料により審査を行います。

議会審査では、これまで膨大な量の紙資料が配付されてきましたが、資料をデータ化し、端末上で閲覧することで、紙の削減、資料の保管・管理の簡易化が期待できます。

導入当初は紙資料を併用しながら審査を行います。検証を行いながら紙の削減を目指していきます。

本市議会は、今後もICT技術を活用し、市民へ迅速かつ分かりやすい議会情報の提供を行うとともに、議会内資料のペーパーレス化を推進し、議会の活性化並びに事務の合理化・効率化を推進していきます。なお、傍聴にお越しの方は、引き続き紙の資料をご覧ください。



予算決算常任委員会

補正予算を含む全議案を可決

6月定例議会では、予算議案及びその関連議案である2件の議案について、4つの分科会で詳細な審査を実施しました。

分科会の審査では平成29年度横須賀市一般会計補正予算においては、旧軍港市日本遺産活用推進協議会負担金に係る補正、地域コミュニティ支援事業に係る補正、万代基金積立金に係る補正、そして建築物基本情報作成事業に係る補正に対して、また損害賠償議案については、2月に発生した交通

事故に係る損害賠償に関して活発な議論が交わされました。

その後、6月14日に常任委員会を開き、各分科会委員長から審査の報告を受け、採決の結果、議案第50号「平成29年度横須賀市一般会計補正予算(第1号)」は賛成多数で、議案第54号「損害賠償について」は全会一致で原案通り可決すべきものと決定しました。

(委員長 伊藤順一)

委員長 伊藤順一
副委員長 大野忠之
このほか、議長を除くすべての議員が委員となります。

生活環境常任委員会(分科会)

産業交流プラザ廃止後の有効活用についての議論

平成29年度一般会計補正予算案の審査では、市民部の地域コミュニティ支援事業と資源循環部の損害賠償事業について審査を行い、活発な議論が交わされました。

平成29年請願第4号「産業交流プラザ廃止後の遊休スペースの有効活用について」に関し請願者から意見陳述を受け、請願内容を審査しました。

委員からは産業交流プラザの貸会議室を総合福祉会館へ移転する根拠、同施設の貸会議室の移転後に発生する遊休スペースの具体的



産業交流プラザがあるベイスクエアよこすか一番館

委員長 南まさみ
副委員長 二見英一
松岡和行
関沢敏行
葉山 直
矢島真知子
伊東雅之
山口道夫
長谷川昇
小室卓重

(委員長 南まさみ)

総務常任委員会(分科会)

浦賀奉行所開設300周年に向けて主体的な検討を

平成29年度一般会計補正予算の審査では、①集客プロモーション事業の一部が文化庁からの補助対象外となったことによる増額に関しては、補助金申請スケジュール、旧軍港四市の日本遺産ホームペー

ジをアクセスしやすいものとする必要性について、②ソニー株の売却収入が予算を上回ったことによる増額に関しては、寄附当時よりも株数が増えた理由、基金残高が尽きる前に教育委員会と連携して万代会館の維持・活用に係る検討を行う必要性について、③よこすか開国祭補助金の増額に関しては、米海軍から無償で借用していた花火の打ち上げ台船が使用できずに民間事業者からの借り上げに

教育福祉常任委員会(分科会)

通年議会となって初の所管事務調査を実施

市立養護学校に埋設された除染土砂の放射能濃度の測定結果に関し、この数値が高かったことを問題視し、通年議会となって初めて、臨時的に委員会を開いて所管事務調査が行われました。この調査では、適切な情報提供のあり方、今後の対応等について、質疑が交わされました。

後日行われた6月定例議会の分科会における平成29年度補正予算案の審査では、万代基金に積み立てる寄贈株式売却益率の設定理由等について、質疑が交わされました。

引き続き行われた常任委員会における審査では、「指定障害福祉サービス等の事業の人員等に関する基準等を定める条例」の改正案に対し、条例の改正目的及び改正理由の他、共同生活住居の立地条

委員長 加藤眞道
副委員長 井口一彦
渡辺光一
石山 満
鈴木真智子
小幡沙央里
伊藤順一
伊関功滋
井坂 直
藤野英明

(委員長 加藤眞道)



万代会館

常任委員会の審査から

都市整備常任委員会(分科会)

念願の久里浜田浦線開通に向けて

予算決算常任委員会都市整備分科会では、市長から提案を受けた一般会計補正予算案のうち、建築物のアスベスト使用状況のデータベース化に関する部分について審査しました。これは、現在は紙の台帳で管理している市内の建築物アスベストの使用状況について、国の補助金を活用して早期にデータベース化することで使用実態をより適切に把握し、住民の安全性を確保しようとするもので、現地調査実施の有無やデータベースの順次公開の必要性について質疑がありました。

都市整備常任委員会では、市長から提案を

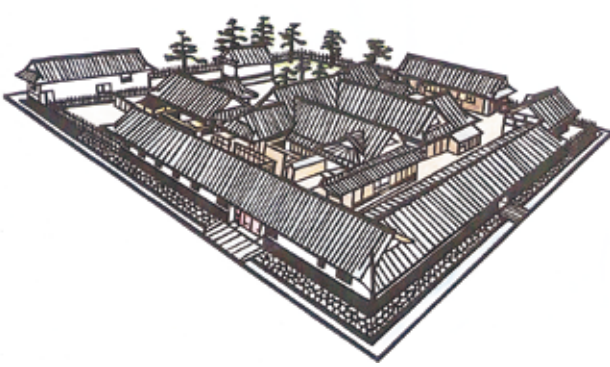
久里浜田浦線の施工状況



久里浜田浦線の施工状況

委員長 嘉山淳平
副委員長 小林伸行
青木秀介
田辺昭人
板橋 衛
はまのまさひろ
杉田 惺
角井 基
ねぎしかずこ

(委員長 嘉山淳平)



浦賀奉行所絵図

委員長 土田弘之宣
副委員長 山本けんじゅ
大野忠之
本石篤志
永井真人
西郷宗範
高橋英昭
大村洋子
青木哲正

(委員長 土田弘之宣)

変更することとなった経緯について質疑がありました。

一般報告では、平成32年の浦賀

奉行所開設300周年に向けた検討状況について、浦賀・鴨居地域運営協議会が主体となりプロジェクトチームが設置され、効果的な記念事業を展開することを目指しているとの報告がありました。委員からは地域任せではなく、あくまで市の行事として主体的に取り組むよう指摘がありました。

議会の新しい役職者が決まりました

平成29年5月10日 招集議会

議長あいさつ

第81代市議会議長に就任しました。二元代表制の一翼を担う議会として、「開かれた議会」、「政策提案型議会」を目指し、今後とも議会改革に努める所存です。

また、今年度から通年議会制へ移行しました。これにより、議会の機動力向上と円滑な議会運営を図り、もって適時適切な課題対応を推進します。



議長
木下 憲司

副議長あいさつ

市政の発展と市民生活の向上に向けて、市長と議会は「正常な緊張関係」にあるべきものと考えます。

今年5月から本市議会は通年議会となりました。議会の機能性の強化と活性化がより図られることとなりますが、副議長として議長を補佐し、円滑な議会運営に努力します。



副議長
伊藤 順一

その他の議会内役職者

- 監査委員 杉田 惺、土田弘之宣
- 神奈川県内広域水道企業団議会議員 矢島真知子
- 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員 渡辺光一

議会運営委員会

- 委員長 大野忠之
 - 副委員長 杉田 惺
 - 渡辺光一、関沢敏行、土田弘之宣、葉山 直、永井真人、加藤眞道、小林伸行、高橋英昭
- 平成29年7月20日現在

平成29年招集議会・6月定例議会審議結果

○は賛成、×は反対

議案番号	賛否が分かれた議案	会 派						無会派		
		自 由 民 主 党	公 明 党	無 所 属 み ら い	市 政 同 友 会	研 政	日 本 共 産 党	青 木 哲 正	小 室 卓 重	藤 野 英 明
		8人	7人	7人	6人	5人	3人			
50	平成29年度横須賀市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×
52	土地の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	×

* その他議案14件については、全会一致で可決または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

* 議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

【会派所属議員名】 平成29年6月16日現在

自由民主党	田辺昭人	大野忠之	青木秀介
	木下憲司（議長）	松岡和行	
	渡辺光一	南まさみ	井口一彦
公明党	板橋 衛	鈴木真智子	土田弘之宣
	石山 満	関沢敏行	本石篤志
	二見英一		
無所属みらい	永井真人	嘉山淳平	はまのまさひろ
	矢島真知子	葉山 直	小幡沙央里
	山本けんじゅ		
市政同友会	伊藤順一	伊東雅之	加藤眞道
	西郷宗範	杉田 惺	山口道夫
研 政	伊関功滋	長谷川昇	小林伸行
	高橋英昭	角井 基	
日本共産党	大村洋子	ねぎしかずこ	井坂 直

決議

件 名	結 果
吉田雄人市長に対する辞職勧告決議について	可決（賛成多数）

請願・陳情

件 名		結 果
請 願	教職員定数改善の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持及び増額並びに教育予算の拡充を求める意見書の提出について	一部採択（意見書案提出）
	産業交流プラザ廃止後の遊休スペースの有効活用について	不採択
陳 情	横須賀市立図書館における公衆無線LANの導入について	趣旨了承
	所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について	審査終了
	神奈川県最低賃金改定等に関する意見書の提出について	趣旨了承（意見書案提出）

意見書

* 審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

件 名	結 果
教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	可決（全会一致）
神奈川県最低賃金改定等に関する意見書の提出について	可決（全会一致）
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決（全会一致）

新議員の紹介

6月25日に行われた市議会議員補欠選挙において、2名の議員が当選されました。



田中洋次郎
会派：自由民主党
住所地：ハイランド
当選回数：1
所属：総務常任委員会



加藤ゆうすけ
会派：無所属みらい
住所地：浦上台
当選回数：1
所属：都市整備常任委員会

今号は、新たに発足した「広報広聴会議」で編集を行いました。広報広聴の名のとおり、市民と議会の双方方向性をアップして、より身近な市議会を目指します。「市議会だより」も進化させるべく、メンバー11名頑張っています。



編集後記

9月定例議会のお知らせ

開催日	会議名	開催日	会議名
9月 4日(月)	議会運営、本会議(市長所信表明)(14時)	9月26日(火)	議会運営
9月 7日(木)	議会運営	9月27日(水)	本会議、予算決算常任(本会議終了後)
9月 8日(金)	本会議、予算決算常任(本会議終了後)	9月28日(木)	(予備日)
9月11日(月)	(予備日)	9月29日(金)	中学校完全給食実施等検討特別委員会
9月13日(水)	教育福祉常任(予決算分科会)、都市整備常任(予決算分科会)	10月 2日(月)	予決算分科会(教育福祉、都市整備)
9月14日(木)	(予備日)	10月 3日(火)	予決算分科会(総務、生活環境)
9月15日(金)	総務常任(予決算分科会)、生活環境常任(予決算分科会)	10月 4日(水)	予決算分科会(教育福祉、都市整備)
9月19日(火)	(予備日)	10月 5日(木)	予決算分科会(総務、生活環境)
9月21日(木)	(予備日)	10月 6日(金)	(予備日)
9月22日(金)	予決算理事会、予算決算常任(11時)	10月10日(火)	(予備日)
9月25日(月)	(予備日)	10月12日(木)	予決算理事会、予算決算常任(11時)
		10月13日(金)	(予備日)
		10月16日(月)	議会運営、本会議 (14時)

* 時間の記載がないものは10時開会です。

* 特別委員会については、日程が追加される場合があります。